

令和元年度茨城県北ジオパーク推進協議会事業計画（案）

事業環境

平成 29 年 12 月の日本ジオパーク認定取消をうけて、平成 30 年度は首長懇談会、幹事会、市町村部長クラス会議、担当者会議、ジオパーク講演会などで、推進協議会の今後の進め方について模索してきました。

その中で、茨城県北ジオパークを推進する意義等基本的な事項をあらためて確認することが必要となり、県北ジオパークが何を指して、何を行おうとしているのか、そして地域にどのようなメリットを生み出すのか、について合意形成されていない状態で活動を行ってきたことが確認されました。このことは、日本ジオパーク委員会からの指摘事項「ジオパークとして共有できる基本計画と実施計画が無い」に合点するものです。また、「対象市町村が共通の価値・利益を見出して、本心から合意形成できるか？」との会員からのご意見は、根本的な考え方に通じるところです。

一方、インタープリター（IP）の熱心で献身的な活動が行われ、JGN 全国大会や関東大会への参加し全国のジオパークとの交流成果を県北のジオツアーやイベントに応用されるなど、ネットワーク活動の成果が得られています。また、ジオネット独自の行事に加え広域での行事や、1 ヶ月を超える長丁場の行事、新たな地域（那珂市）でジオツアーの開催など、活動の内容と質が向上してきており、各ジオネットにおける定例会や学習会などスキルアップの機会も増えています。

重点事業

これらの状況の中で、次の 3 点を令和元年の重点事業として提案します。

1. 茨城県北ジオパーク構想の基本計画、実施計画の策定

あらためてジオパーク活動の意義を考え、地域がどうありたいのか、そのために何が出来るのかを明文化し地域や関係者が共有出来る基本計画を策定します。策定にあたっては広く意見を伺う「茨城県北ジオパークの今後を考える」公開討論会を JGN、JGC の支援を得て開催します。公開討論会から得られる地域の課題や意見を基に、ジオパーク活動によりどのような地域の将来像を描けるかを、「持続可能な開発目標（SDGs）」の考えを取り入れ策定を進めます。

2. インタープリター活動支援の強化

既に活躍されている IP へブラッシュ研修を行い、新たな IP の養成を目的にインタープリター研修・養成講座を 1 月～2 月に筑波銀行、茨城県北生涯学習センターとの連携事業として開催します。

また、IP の JGN 行事参加補助を継続し、ジオツアー催行やイベント出展時の説明資料の作成や印刷、体験・実験コーナー等の材料費や運営経費の補助を行います。

3. 広報活動の充実とパートナーシップ

ホームページや SNS での情報発信の充実、ジオサイトマップの改修、案内看板の設置など広報活動を充実させ、地域へジオパーク活動への理解を促進し、民間企業や各種団体とのパートナーシップ事業を計画します。

－茨城県北ジオパーク構想の主な活動－

I. 茨城県北ジオパーク構想の基本的事項を確認するための業務

(新協議会体制、基本計画づくりと早期の再認定を目指す活動)

1. 茨城県北ジオパーク構想の基本計画、実施計画の作成
2. ジオストーリーの見直し
3. 上記1, 2を地域に確認する事業
4. 新運営体制、事務局体制の作成
5. 拠点施設の設置計画の作成
6. 運営経費の確保

II. 茨城県北ジオパーク推進協議会の事業（Iと並行して推進するジオパーク活動）

1. 普及啓発に関する事業
 - (1)各種行事の開催
 - (2)広報物の作成
 - (3)研修会の実施
2. 活動支援に関する事業
 - (1)IP 支援講座の実施
 - (2)ジオイベント等への協力
 - (3)地域支援活動
3. 茨城県北ジオパーク推進協議会等の開催
4. 茨城県北ジオパーク推進協議会事務局業務
 - (1)協議会の運営業務
 - (2)JGN など関係機関等との連絡調整
 - (2)ウェブサイトの管理

III. 日本ジオパークネットワーク（JGN）に係る事業

1. JGN2019 年度通常総会への参加（5/27）
2. ジオパークによる地域活性化推進議員連盟（国会議員）総会への参加（5/27）
3. JGN 運営会議、惑星科学連合大会ジオパークセッション等への参加（5/25-5/26）
4. JGN 全国研修会（銚子）への参加（5/28-5/29）
5. JGN 全国大会(大分)への参加（10/31-11/5）
6. JGN 全国研修会(糸魚川)への参加（11月）
7. JGN 関東ブロック大会（伊豆大島）への参加（11/17－11/18）
8. JGN の各種 WG への参加
9. その他 JGN に係る事項

IV. その他

(参考1) 令和元年度茨城大学におけるジオパーク活動

I. ジオパークに関する学術的な支援策

1. ジオストーリー作成や学術的価値担保のための支援
2. 地質情報活用プロジェクト（学生）との連携
3. IP へのアドバイス
4. その他必要な事項

II. 事務局支援

1. JGN 活動、ジオパーク活動の情報収集・発信に関すること
2. インタープリターのガイド力向上に関すること
3. SDG s に関する研修会等実施
4. その他

(参考2) 公開討論会「茨城県北ジオパークの今後を考える」の開催概要素案

予定日時 2019年8月下旬～9月（土曜日の午後）

会場 茨城大学水戸キャンパス

参加者 目標50名以上、(マスコミ取材入れる)

開催目的

茨城県北において、あらためてジオパークを推進する意義を考える。日本ジオパーク委員会の再認定審査により2度のイエローカードによる認定取消しを受けて、ジオパークに関わる人たちが、地域がどうなっていてほしいのか、そのためには何が出来るのか、地域課題の解決にジオパークは有効なのか？考え、茨城県北ジオパーク構想の基本理念と基本計画の策定の参考とする。

講演1. 本来のジオパークの活動を示す。 (候補) JGC委員長

講演2. 広域地域課題の解決プロセスを示す。 (候補) JGC委員またはJGN関係者

事務局報告 これまでの茨城県北ジオパークの活動について

公開討論会 「茨城県北ジオパークの今後を考える」

あたらしい茨城県北ジオパーク構想の活動について

ファシリテーター (2名ほど、JGC審査員+JGN関係者)

対象者は、関係者、IP、地域団体、地域住民、地域企業、近隣ジオパーク、など

以上